



令和 2 年 日本赤十字社一宮市地区の主な事業報告

(令和2年 1 月 1 日～令和 2 年12月31日)

○災害義援金・寄附金の受付

※ 受付金額は受付開始から12月末までの総額

義 援 金 ・ 寄 附 金 名	受付金額(円)	受付開始日
東日本大震災義援金	68,629,242	23年3月14日
平成28年熊本地震災害義援金	12,897,244	28年4月18日
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	1,242,135	29年7月11日
平成30年7月豪雨災害義援金	3,161,910	30年7月18日
〃 北海道胆振東部地震災害義援金	439,793	〃 9月14日
令和元年8月豪雨災害義援金	217,983	元年9月6日
〃 台風第15号千葉県災害義援金	407,846	〃 9月27日
〃 台風第15号東京都義援金	191,105	〃 10月8日
〃 台風第19号災害義援金	1,747,159	〃 10月18日
令和2年7月豪雨災害義援金	619,009	2年7月14日
令和2年度「NHK海外たすけあい」寄附金	23,148	〃 12月1日

Q1:義援金は被災地にどのように届けられるの?

A1:一宮市地区で受付した義援金は、日本赤十字社愛知県支部を通じて、全額が被災地の義援金配分委員会に送られ、被災者に配分されます。

Q2:令和2年7月豪雨災害のように被害が広域(長野・熊本等)なため、義援金が被災状況で按分される場合に、地域を限定して支援する方法は?

A2:日本赤十字社のウェブサイト内の「寄付する」の中に、被災都道府県支部の受付口座が掲載されていますので、支援したい地域の支部に直接振込ができます。

○災害見舞(住家) 全焼など被災された方々に必要に応じて物資をお届けしました。

全焼11戸・半焼3戸(被災者42人)に対して、毛布等68枚のほか、歯ブラシ・タオル・LED電灯・ラジオなどが入った救急セットを16個お届けしました。

○赤十字奉仕団 人道・博愛の精神の奉仕者組織で、一宮市地区には13分団(団員519名)があります。市や地域の防災訓練への参加・協力をはじめ、避難所で役立つスキルの講習などを行っていますが、コロナ禍の令和2年は、限られた活動に留まりました。

○市内の献血実績(令和2年)

コロナ禍により献血者数が減っており、東海北陸7県では、4月に4,954人分、7月に1,616人分の献血血液(赤血球)が計画を下回りましたが、一宮市地区では、下の表のように、例年以上のご協力をいただきました。誠にありがとうございました。

	実施数(回)	参加人数(人)	採血本数(本)
平成30年	102	5,896	5,002
令和元年	94	5,369	4,569
令和2年	109	6,359	5,417



○献血バス運行スケジュール

愛知県赤十字血液センター(Tel0561-84-1131)にお尋ねいただくか、同センターのウェブサイトで、日時と献血会場が検索できます。

Q1:献血した血液は、どうなるの?

A1:日本赤十字社の東海北陸ブロック血液センター(瀬戸市)に送られ、検査の後、血液製剤に調製・保管し、隣接する愛知県赤十字血液センターから24時間体制で、要請があった医療機関に届けられます。

Q2:血液製剤の有効期間はどれくらい?

A2:血漿は採血後1年間ですが、赤血球は21日間、血小板は4日間しか使えません。
医療機関に提供される血液製剤の約半分は血小板製剤ですので、安定供給が必要です。

Q3:血小板だけを献血する「成分献血」ができる場所は?

A3:献血バスではできませんが、「献血ルームタワーズ20」(名古屋駅JRセントラルタワーズ20階 Tel052 571-1002)などでできます。

Q4:献血会場のコロナ対策は?

A4:職員は、出勤前・出勤時の体温測定や、手指消毒の徹底、献血者毎の看護師手袋の交換、献血会場で使用する機材の消毒をしています。
献血者の皆さまには、会場入口での手指消毒・体温測定と、マスクの着用をお願いしています。

Q5:一宮市内で、献血会場に多くなる場所は?

A5:令和2年に献血会場に多くなった場所は、イオンモール木曾川が49回、コーナン一宮今伊勢店とテラスウォーク一宮が各8回でした。一宮市内の献血会場の約6割を占めています。

Q6:初めての献血に必要なものは?

A6:運転免許証やパスポート、学生証など本人確認ができるものをお持ちください。

令和2年度 一宮市地区会費・寄付金実績

連区名	会費	寄付金	合計(円)
宮西	0	970,740	970,740
貴船	2,000	1,026,400	1,028,400
神山	10,000	1,249,600	1,259,600
大志	4,000	576,050	580,050
向山	22,000	1,098,000	1,120,000
富士	10,000	771,300	781,300
葉栗	0	1,537,950	1,537,950
西成	2,000	3,973,190	3,975,190
丹陽町	3,000	2,229,000	2,232,000
浅井町	22,000	2,503,164	2,525,164
北方町	20,000	1,202,400	1,222,400
大和町	67,000	2,427,185	2,494,185
今伊勢町	36,000	2,340,200	2,376,200
奥町	8,000	904,100	912,100
萩原町	38,000	2,221,700	2,259,700
千秋町	8,000	2,008,530	2,016,530
起	0	290,410	290,410
小信中島	0	689,210	689,210
三条	39,000	953,280	992,280
大徳	0	547,530	547,530
朝日	5,000	969,580	974,580
開明	5,000	648,510	653,510
木曾川町	12,000	2,947,200	2,959,200
連区計	313,000	34,085,229	34,398,229
特別募金	法人	110,000円	} 423,000円
	個人	39,500円	
	奉仕団	273,500円	
合計	34,821,229円		

令和2年12月31日現在

コロナ禍にもかかわらず、活動資金にご協力いただき、誠にありがとうございました。

令和元年度 一宮市地区費決算

○歳入の部

科目	金額
1. 県支部交付金	8,370,000
2. 雑収入	6,176
3. 繰越金	1,779,910
合計	10,156,086

○歳出の部

科目	金額
1. 事務費	131,694
2. 事業費	6,458,464
(1) 需要費	2,593,278
(2) 募金費	2,619,882
(うち、連区助成費)	(2,364,833)
(3) 社員増強費	425,304
(4) 協力団体助成費	284,500
(5) 献血推進事業費	535,500
3. 災害対策費	1,685,481
(うち、物資備蓄)	(1,444,300)
4. 災害等資金積立金	0
合計	8,275,639

単位：円



皆様からお寄せいただいた左の表の活動資金(会費・寄付金)は、全額を愛知県支部に送金しました。

一宮市地区では、県支部からの交付金等を収入として、地区事業を進めています。

日本赤十字社一宮市地区
一宮市栄3丁目1番2号
☎ 73-0696